



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社はるやまホールディングス
 コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 治山 正史
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 一ノ瀬 達也

TEL 086-226-7101

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無 (新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	50,582	8.9	376	79.4	639	70.3	402	
2019年3月期	55,554	2.7	1,829	24.0	2,151	21.5	248	

(注) 包括利益 2020年3月期 310百万円 (%) 2019年3月期 277百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	24.70	24.62	1.1	1.1	0.7
2019年3月期	15.22		0.7	3.5	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	60,275	36,797	61.0	2,254.37
2019年3月期	61,051	36,733	60.2	2,252.44

(参考) 自己資本 2020年3月期 36,789百万円 2019年3月期 36,724百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,587	1,001	21	12,106
2019年3月期	4,750	713	52	11,542

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		15.50	15.50	252		0.7
2020年3月期		0.00		15.50	15.50	252	62.7	0.7
2021年3月期(予想)		0.00		15.50	15.50			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が多岐にわたり、現時点では適正かつ合理的な業績予想の算定が困難なことから未定としております。今後、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	16,485,078 株	2019年3月期	16,485,078 株
期末自己株式数	2020年3月期	166,014 株	2019年3月期	180,854 株
期中平均株式数	2020年3月期	16,307,895 株	2019年3月期	16,302,377 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
役員の異動	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、海外経済の不確実性に加え、新型コロナウイルスの感染拡大により、急速に先行きの不透明感が高まりました。

また、衣料品小売業界におきましては、10月以降の気温が高く推移したことによる秋冬物衣料品の販売不振、消費税率の引き上げによる節約志向の高まりなどにより、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループにおきましては前期に引き続き「健康」をキーワードに事業を展開するなど他社との差別化戦略を行いました。具体的には「ストレス対策スーツ」やファイテン株式会社と共同開発した「ファイテンシリーズ商品」、株式会社タニタとコラボレーションしたスーツなどの商品がお客様からご好評いただきました。さらに、当社グループで展開中の完全ノーアイロン「i Shirt（アイシャツ）」が販売開始から、累計販売枚数500万枚を突破いたしました。このほかSDGsへの取り組みとして海洋プラスチックごみの削減に貢献できる「ECO i-Shirt（エコアイシャツ）」（包装用プラスチック資材を廃止し、素材には再生ポリエステル100%生地を採用）を開発し、オンラインモールにて販売を始めました。同商品は2019年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。

SDGsへの取り組みは商品面だけでなく、当社グループの店舗にてプラスチック原料のショッピングバッグを順次廃するなど、今後も環境に配慮した取り組みを積極的に推進してまいります。

また、「はるやま」の店舗において、「クリーニング」や「リフレッシュカプセル」などライフスタイルに関連する、様々なサービスを提供する「ほっとひと息ステーション」を順次拡大しております。

店舗数に関しましては、グループ全体で11店舗新規出店した一方で、15店舗を閉店したこと、また連結子会社（株式会社BASE）の事業譲渡に伴い6店舗減少した結果、当連結会計年度末の総店舗数は464店舗となりました。

なお、当社グループは衣料品販売事業以外に広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当連結会計年度におきましては、暖冬による秋冬物衣料品の販売不振や消費税率引き上げの影響を受けつつも、「健康」をキーワードに事業を展開するなど他社との差別化戦略により1月から2月中旬にかけては堅調な売上推移をみせておりました。しかしながら、当社グループにおける事業の性質上、売上高構成比の高い2月下旬以降のフレッシュャーズ商戦期において、新型コロナウイルスが感染拡大したことにより、3月の既存店（臨時休業店舗を含む）における売上高前年比が75.6%になりました。さらに、連結子会社2社の株式譲渡、事業譲渡を行ったことによる売上高の減少もあり、売上高505億8千2百万円（前年同期比8.9%減）となりました。利益面は、経費の効率化などを積極的に行いましたが、営業利益3億7千6百万円（前年同期比79.4%減）、経常利益6億3千9百万円（前年同期比70.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4億2百万円（前年同連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失2億4千8百万円）の結果となり、黒字転換を果たすことが出来ました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、主に現金及び預金が5億5千4百万円増加した一方で、未収入金が9億1千1百万円減少したことや未収還付法人税が8千2百万円減少したこと等の理由により、流動資産が5億1千9百万円減少いたしました。加えて新規出店の抑制により有形固定資産が3億1百万円減少したことなどで固定資産は2億5千6百万円減少しました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べて7億7千5百万円減少し、602億7千5百万円となりました。

負債につきましては、借入金が3億8千7百万円増加した一方で、未払法人税等が2億8百万円減少したことや未払金が1億8千2百万円減少したこと等の理由により、前連結会計年度末に比べて8億3千9百万円減少し、234億7千7百万円となりました。純資産につきましては、2億5千2百万円の期末配当を実施しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益が4億2百万円あったことなどから、前連結会計年度末に比べ6千3百万円増加し、367億9千7百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ5億6千4百万円増加し、121億6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は15億8千7百万円(前年同期比66.6%減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益を3億1千1百万円計上したこと、減価償却費の計上が11億7千6百万円あったこと、売上債権の減少額が9億4千2百万円あった一方で、たな卸資産の増加額が2億7百万円あったこと、法人税等の支払額が6億4千万円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億1百万円(前年同期比40.2%増)となりました。これは主に新規出店・既存店の改装等による有形固定資産の取得及び差入保証金の差入による支出が9億8千4百万円あった一方で、差入保証金の回収による収入が2億3百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2千1百万円(前年同期比59.0%減)となりました。これは主に長期借入による収入が23億5千万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が19億5千1百万円あったことに加え、ファイナンス・リース債務の返済による支出が7千9百万円、配当金の支払額が2億5千2百万円あったことなどによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	60.2	60.2	61.0
時価ベースの自己資本比率(%)	27.5	23.0	20.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.74	1.39	4.29
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	71.1	215.7	89.9

(注) 自己資本比率: 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー/利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利息支払額については、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大により、3月の既存店(臨時休業店舗を含む)における売上高前年比が75.6%になるなど、業績に大きな影響を受けました。

4月に入り、政府による緊急事態宣言の発出に伴い、外出自粛による客数減少などで、4月の既存店(臨時休業店舗を含む)における売上高前年比は43.4%となりました。さらに、実店舗におきましては臨時休業や営業時間短縮の対応をとるなど、その影響は拡大しており、収束時期についても極めて不透明な状況にあります。これらの状況を踏まえると、現時点では適正かつ合理的な業績予想の算定が困難なことから未定としております。今後の動向を見極めながら、適正かつ合理的な算定が可能となり次第速やかに公表する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたしますが、国際会計基準(IFRS)の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,557,784	12,112,446
受取手形及び売掛金	151,887	116,964
商品	13,077,101	13,099,762
貯蔵品	38,550	33,209
未収入金	4,626,282	3,714,923
未収還付法人税等	359,251	277,235
その他	934,227	873,390
貸倒引当金	△55,750	△57,603
流動資産合計	30,689,334	30,170,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,490,442	31,567,135
減価償却累計額	△26,362,799	△26,784,775
建物及び構築物(純額)	5,127,642	4,782,360
車両運搬具	17,202	17,202
減価償却累計額	△16,023	△16,737
車両運搬具(純額)	1,178	464
工具、器具及び備品	4,187,015	4,457,154
減価償却累計額	△3,422,206	△3,584,002
工具、器具及び備品(純額)	764,808	873,152
土地	11,293,912	11,293,912
リース資産	723,693	326,154
減価償却累計額	△634,020	△301,127
リース資産(純額)	89,673	25,026
建設仮勘定	5,311	5,720
有形固定資産合計	17,282,528	16,980,636
無形固定資産		
のれん	421,206	306,332
その他	426,422	669,845
無形固定資産合計	847,629	976,177
投資その他の資産		
投資有価証券	727,035	580,555
長期貸付金	409,663	394,261
繰延税金資産	3,405,687	3,706,606
差入保証金	7,349,889	7,153,286
その他	340,355	314,431
貸倒引当金	△1,069	△1,055
投資その他の資産合計	12,231,561	12,148,086
固定資産合計	30,361,718	30,104,900
資産合計	61,051,053	60,275,229

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,743,467	8,834,016
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,932,554	1,692,086
リース債務	79,199	23,789
未払金	2,930,259	2,747,412
未払法人税等	310,524	101,771
ポイント引当金	770,104	715,039
賞与引当金	6,700	5,800
店舗閉鎖損失引当金	76,933	55,802
事業譲渡損失引当金	229,455	—
資産除去債務	39,208	22,656
その他	1,590,351	1,066,555
流動負債合計	17,208,758	15,764,929
固定負債		
長期借入金	3,962,896	4,590,810
リース債務	28,737	4,948
退職給付に係る負債	1,468,760	1,483,572
資産除去債務	1,228,439	1,232,424
長期預り保証金	396,986	382,386
その他	22,829	18,724
固定負債合計	7,108,651	7,712,867
負債合計	24,317,409	23,477,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	28,940,373	29,081,972
自己株式	△195,945	△179,853
株主資本合計	36,597,921	36,755,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,941	33,584
繰延ヘッジ損益	379	52
その他の包括利益累計額合計	126,320	33,636
新株予約権	9,401	8,183
純資産合計	36,733,643	36,797,432
負債純資産合計	61,051,053	60,275,229

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	55,554,647	50,582,573
売上原価	23,632,011	21,483,385
売上総利益	31,922,636	29,099,187
販売費及び一般管理費	30,092,914	28,722,697
営業利益	1,829,722	376,490
営業外収益		
受取利息	5,384	5,661
受取配当金	16,917	15,693
受取地代家賃	415,945	410,380
その他	126,881	115,052
営業外収益合計	565,127	546,788
営業外費用		
支払利息	22,779	18,023
賃貸費用	200,214	193,084
その他	20,604	73,129
営業外費用合計	243,599	284,237
経常利益	2,151,251	639,041
特別利益		
投資有価証券売却益	—	17,500
固定資産売却益	26,218	—
新株予約権戻入益	140	175
関係会社株式売却益	228,563	—
その他	1,081	—
特別利益合計	256,003	17,675
特別損失		
投資有価証券評価損	229,525	—
固定資産除売却損	445,162	115,608
減損損失	649,141	200,352
債権譲渡損	526,315	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,883	17,556
事業譲渡損失引当金繰入額	229,455	—
その他	73,004	12,181
特別損失合計	2,164,488	345,699
税金等調整前当期純利益	242,765	311,017
法人税、住民税及び事業税	517,417	154,813
法人税等調整額	△26,451	△246,654
法人税等合計	490,966	△91,841
当期純利益又は当期純損失（△）	△248,200	402,858
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失（△）	△248,200	402,858

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△248,200	402,858
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,455	△92,357
繰延ヘッジ損益	1,375	△326
その他の包括利益合計	△29,080	△92,684
包括利益	△277,281	310,174
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△277,281	310,174

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,991,368	3,862,125	29,444,582	△202,338	37,095,737
当期変動額					
剰余金の配当			△252,624		△252,624
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△248,200		△248,200
自己株式の取得					—
自己株式の処分			△3,383	6,392	3,009
連結子会社株式の取得による持分の増減		△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△0	△504,208	6,392	△497,815
当期末残高	3,991,368	3,862,125	28,940,373	△195,945	36,597,921

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	156,397	△996	155,401	9,954	37,261,092
当期変動額					
剰余金の配当			—		△252,624
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			—		△248,200
自己株式の取得			—		—
自己株式の処分			—		3,009
連結子会社株式の取得による持分の増減			—		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△30,455	1,375	△29,080	△553	△29,633
当期変動額合計	△30,455	1,375	△29,080	△553	△527,449
当期末残高	125,941	379	126,320	9,401	36,733,643

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,991,368	3,862,125	28,940,373	△195,945	36,597,921
当期変動額					
剰余金の配当			△252,715		△252,715
親会社株主に帰属する当期純利益			402,858		402,858
自己株式の取得				△50	△50
自己株式の処分			△8,544	16,143	7,599
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	141,598	16,092	157,691
当期末残高	3,991,368	3,862,125	29,081,972	△179,853	36,755,612

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	125,941	379	126,320	9,401	36,733,643
当期変動額					
剰余金の配当			—		△252,715
親会社株主に帰属する当期純利益			—		402,858
自己株式の取得			—		△50
自己株式の処分			—		7,599
連結子会社株式の取得による持分の増減			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△92,357	△326	△92,684	△1,218	△93,902
当期変動額合計	△92,357	△326	△92,684	△1,218	63,789
当期末残高	33,584	52	33,636	8,183	36,797,432

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	242,765	311,017
減価償却費	1,364,753	1,176,306
減損損失	649,141	200,352
のれん償却額	120,010	114,874
関係会社株式売却損益(△は益)	△228,563	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	21,320	△55,065
貸倒引当金の増減額(△は減少)	52,670	1,839
債権譲渡損	526,315	—
事業譲渡損失引当金の増減額(△は減少)	229,455	△229,455
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△30,698	△21,131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,648	14,811
受取利息及び受取配当金	△22,301	△21,355
支払利息	22,779	18,023
長期貸付金の家賃相殺額	6,000	6,000
投資有価証券評価損益(△は益)	229,525	△17,500
固定資産除売却損益(△は益)	400,556	30,394
売上債権の増減額(△は増加)	12,763	942,451
たな卸資産の増減額(△は増加)	697,738	△207,400
仕入債務の増減額(△は減少)	77,260	90,434
その他	361,841	△484,575
小計	4,738,983	1,870,022
利息及び配当金の受取額	17,959	16,757
利息の支払額	△22,021	△17,663
法人税等の支払額	△1,183,047	△640,943
法人税等の還付額	1,199,076	359,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,750,949	1,587,424
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	10,000	10,200
投資有価証券の売却による収入	—	17,500
関係会社株式の取得による支出	△105,932	—
事業譲渡による収入	—	150,000
有形固定資産の取得による支出	△481,112	△860,437
有形固定資産の売却による収入	42,232	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△91,675	—
長期貸付けによる支出	△1,830	△930
長期貸付金の回収による収入	1,100	1,140
差入保証金の差入による支出	△252,412	△124,213
差入保証金の回収による収入	445,791	203,956
関係会社貸付けによる支出	△143,000	△35,000
その他	△137,090	△363,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△713,928	△1,001,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,800,000	—
長期借入れによる収入	3,800,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,518,038	△1,951,180
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△180,031	△79,199
セールアンド割賦バック取引による支出	△104,058	△94,798
自己株式の取得による支出	—	△50
ストックオプションの行使による収入	2,456	6,381
配当金の支払額	△252,791	△252,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,463	△21,506
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,984,557	564,861
現金及び現金同等物の期首残高	7,557,527	11,542,084
現金及び現金同等物の期末残高	11,542,084	12,106,946

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）及び当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループにおける報告セグメントは衣料品販売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,252円44銭	2,254円37銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△15円22銭	24円70銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	24円62銭

（注）1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△248,200	402,858
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△248,200	402,858
期中平均株式数(株)	16,302,377	16,307,895
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	53,818
(うち新株予約権(株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

・新任取締役候補

社外取締役 田尻 邦夫

社外取締役 清水 夏子

・退任予定取締役

取締役常務執行役員 伊藤 卓

社外取締役 松田 良成

社外取締役 菅谷 貴子

(3) 予定日

2020年6月25日